

インドにおける家電リサイクル事業

日本磁力選鉱(株)(希少金属回収のリサイクル企業)

経済産業省「インドにおける電気電子機器廃棄物のリサイクル事業に関する実施可能性調査」(2011~12年度)⑨
第1段階として、インドから電子基板を輸入し、貴金属・レアメタルの回収事業を実施

インドからバーゼル条約に基づく、世界初の輸入で、初年度200トン(売上高1億数千万円)、次年度以降、年間600トン(売上高約5億円)の輸入を目指す

第1段階

日本への輸入
(インドで処理の難しい電子基板等)

第2段階

粉碎・選鉱技術の知財化／
ライセンス供与

第3段階

共同事業の展開



日本磁力選鉱(株)の動向

NEDOの「希少金属代替・削減技術実用化開発助成事業(2011年3月採択)」を通じて、携帯電話や小型電子機器、廃家電基板等からレアメタル及び希少金属を濃縮回収(二次処理)する技術を開発(2012年5月からプラント運転開始)。濃縮回収物は精錬メーカー、素材メーカーへ供給。

この事業の一環として、インドからパソコンの廃電子基板を輸入して、国内分と併せて処理することを目指し、Eco Recycling社に2012年9月に投資。同社から廃電子基板を輸入開始(2013年6月)

現在、現地でのNEDO実証事業として、白物家電等の低品位電子基板の濃縮設備及ブラウン管処理設備の導入・実証を行っている。将来的にはインドでのリサイクル・精錬技術の向上を踏まえ、現地でのライセンス供与(第2段階)・共同事業実施(第3段階)を視野に入れている。

協力企業(Eco Recycling社)概要

マハラシュトラ州に立地し、2009年からE-Wasteのリサイクル施設を稼働し、許可を最も初期に取得した企業。簡易な破碎・選別施設、リファービッシュ工程を有する。ムンバイ株式市場に上場し、インド国内でも高い知名度を有する。

